



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
 コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044 (850) 1320
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,410	3.8	196	△10.0	196	△11.8	134	△14.9
2020年3月期第2四半期	1,358	9.0	218	21.7	222	22.8	158	7.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 134百万円 (△14.9%) 2020年3月期第2四半期 158百万円 (7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	57.33	55.47
2020年3月期第2四半期	65.32	62.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,791	2,180	37.6
2020年3月期	5,928	2,133	36.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,180百万円 2020年3月期 2,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	2.4	435	1.0	445	△1.3	315	0.7	132.36

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

3. 業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	2,436,200株	2020年3月期	2,433,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	67,048株	2020年3月期	8,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	2,350,858株	2020年3月期2Q	2,425,985株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に悪化した後、持ち直しつつあります。鉱工業生産は、国内外の需要の落ち込みや世界各国の工場停止に伴うサプライチェーン障害により大幅に減少した後、経済活動の再開を受けて持ち直しております。企業収益が製造業、非製造業ともに大きく悪化したことを受け、設備投資は弱い動きとなっております。個人消費は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出自粛の影響などから急速に落ち込んだ後、緊急事態宣言の解除に伴い徐々に持ち直しております。

このような環境のなか、当社グループは、従業員とその家族、来院する飼い主の安全確保、感染拡大防止に最優先に取り組んでまいりました。

動物病院は「社会生活を維持する上で必要な施設」として、事業の継続を要請されてきたことや、動物の二次診療サービスは急なニーズに応えるものが多いことから、新型コロナウイルス拡大による業績への影響は、比較的軽微でありました。

一方、症例実績を発表する場である学会や各種セミナーが開催不可能な状況となるなど、マイナスの影響もありましたが、当社グループは日頃の診療活動を通じた一次診療施設とのコミュニケーション強化を継続することによって、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。その結果、初診数（新規に受け入れた症例数）は3,455件（前年同期比7.2%増）、総診療数（初診数と再診数の合計）は13,314件（前年同期比8.1%増）、手術数は1,077件（前年同期比15.1%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,410,410千円（前年同期比3.8%増）と増収となりましたが、利益面では、主に従業員の増加及び待遇改善に伴う人件費増加の影響から、営業利益は196,518千円（前年同期比10.0%減）、経常利益は196,309千円（前年同期比11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は134,795千円（前年同期比14.9%減）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,361,759千円となり、前連結会計年度末に比べ102,748千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が117,370千円減少したことによるものであります。固定資産は4,429,722千円となり、前連結会計年度末に比べ34,513千円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は5,791,482千円となり、前連結会計年度末に比べ137,261千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は826,216千円となり、前連結会計年度末に比べ14,639千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加9,532千円及び主に未払法人税等の支払による減少29,394千円によるものであります。また、固定負債は2,785,142千円となり、前連結会計年度末に比べ168,847千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、3,611,358千円となり、前連結会計年度末に比べ183,487千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,180,123千円となり、前連結会計年度末に比べ46,225千円増加いたしました。これは主に自己株式取得による増加及び取得自己株式の処分による減少の合計94,466千円並びに親会社株主に帰属する四半期純利益134,795千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、228,656千円（前年同期比18.1%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益196,309千円、減価償却費118,466千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、39,409千円（前年同期比29.6%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出35,919千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、306,617千円（前年同期比17.4%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出262,741千円及び自己株式の取得による支出147,770千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2020年5月7日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,249,278	1,131,907
売掛金	144,052	138,974
商品	47,685	52,016
貯蔵品	5,605	5,618
その他	29,087	43,574
貸倒引当金	△11,201	△10,331
流動資産合計	1,464,508	1,361,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,566,296	1,536,214
土地	2,228,267	2,228,267
その他(純額)	488,233	452,707
有形固定資産合計	4,282,798	4,217,190
無形固定資産	20,936	17,466
投資その他の資産	160,500	195,064
固定資産合計	4,464,235	4,429,722
資産合計	5,928,743	5,791,482
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,994	41,811
1年内返済予定の長期借入金	511,499	521,031
未払法人税等	101,073	71,679
賞与引当金	55,310	66,553
その他	122,979	125,140
流動負債合計	840,856	826,216
固定負債		
長期借入金	2,892,678	2,720,405
退職給付に係る負債	20,450	20,550
資産除去債務	40,860	41,070
その他	—	3,116
固定負債合計	2,953,989	2,785,142
負債合計	3,794,846	3,611,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	384,875	385,500
資本剰余金	340,193	345,464
利益剰余金	1,422,661	1,557,457
自己株式	△13,833	△108,300
株主資本合計	2,133,897	2,180,123
純資産合計	2,133,897	2,180,123
負債純資産合計	5,928,743	5,791,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,358,779	1,410,410
売上原価	858,656	918,893
売上総利益	500,123	491,516
販売費及び一般管理費	281,798	294,998
営業利益	218,324	196,518
営業外収益		
受取家賃	12,312	12,018
その他	2,389	2,514
営業外収益合計	14,702	14,533
営業外費用		
支払利息	7,845	7,014
資金調達費用	2,251	1,923
固定資産除却損	214	5,109
その他	36	694
営業外費用合計	10,346	14,742
経常利益	222,679	196,309
特別利益		
固定資産売却益	332	—
特別利益合計	332	—
税金等調整前四半期純利益	223,012	196,309
法人税等	64,546	61,513
四半期純利益	158,466	134,795
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,466	134,795

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	158,466	134,795
四半期包括利益	158,466	134,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,466	134,795

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	223,012	196,309
減価償却費	108,387	118,466
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△869
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,066	11,243
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,600	100
受取利息	△5	—
支払利息	7,845	7,014
資金調達費用	2,012	1,873
固定資産売却益	△332	—
売上債権の増減額(△は増加)	6,722	4,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,028	△4,343
仕入債務の増減額(△は減少)	4,309	△7,973
未払消費税等の増減額(△は減少)	△77,163	△12,320
その他	△12,835	11,412
小計	260,461	325,781
利息の受取額	5	1
利息の支払額	△7,799	△6,569
法人税等の支払額	△59,119	△90,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,547	228,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,407	△35,919
有形固定資産の売却による収入	332	—
無形固定資産の取得による支出	△15,454	—
保険積立金の積立による支出	△2,868	△3,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,397	△39,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△264,789	△262,741
株式の発行による収入	4,250	5,250
リース債務の返済による支出	—	△255
自己株式の取得による支出	—	△147,770
その他	△554	△1,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△261,093	△306,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△97,943	△117,370
現金及び現金同等物の期首残高	1,150,347	1,149,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,052,404	1,031,907

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2020年3月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、この取得により自己株式は147,700千円(91,400株)増加いたしました。また、新株予約権行使により移転した自己株式8,000株及び2020年8月6日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式25,000株の処分を行い、この処分により自己株式は53,303千円(33,000株)減少いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は108,300千円(67,048株)となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。